

流山寺 だより 洞雲

発行：洞雲山流山寺
〒270-0164
流山市流山 7-579
TEL 04(7158)0415

新しい年を迎え、流山寺壇信徒の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。
平成の元号も三十一年で終わりとなります。
これを機に、「流山寺だより」を皆様にお届けしたいと発心致しました。不定期な発行となりますが、よろしくお願いいたします。

流山寺について

- 一 私たちの宗派は、禅宗の曹洞宗です。
曹洞宗のご本尊様は、お釈迦様
曹洞宗のご祖師様は、道元さまと瑩山さま
ご本山は永平寺（父）と總持寺（母）です。
- 二 私たちのお寺は、洞雲山 流山寺です。
本堂の仏像は次の通りです。向かって右から
招宝七郎大現修理菩薩
道元禪師（高祖承陽大師）
薬師如来
- 三 南無釈迦牟尼仏と合掌して三回お唱えします
お寺にお参りに来たら、まず本堂の前で

江戸時代中期に開山

流山寺の御本寺（お寺の老家）は、流山市名都借にある広壽寺様です。広壽寺様の二代目桂屋瑞嫩大和尚様をお招きして流山寺のご開山（初代の住職）となつていただいています。大和尚様は萬治二年（一六五九年・徳川家綱が將軍の頃）に遷化なされています。ですから、流山寺は江戸時代の中期に建立されたこととなります。
その後、宝暦年間（西暦一七五一年頃）と昭和十五年七月七日に火災に遭つております。
江戸時代の終わりに、お隣の光明院様とともに新撰組の隊員の方々が宿泊しています。
昭和の火災で茅葺き屋根の本堂と御本尊（観音菩薩）を消失し、光明院様から薬師如来様を遷座（お迎え）し、昭和四五年（一九六五年）に檀家の皆様のご寄付により本堂を再建し、今の姿になりました。



流山寺 御本尊
薬師如来像

毎月十五日は、座禅会

毎月十五日午後七時から八時までに座禅会を行っています。参加者は五名前後です。
初めての方も大歓迎。初めての方は事前に連絡をお願いします。所作を手ほどきします。服装はジャージなどゆつたりとしたもの。無料です。

流山七福神 大黒様

流山市観光協会が中心となり昭和六十一年の正月から、市内七カ寺を「七福神」のお寺として指定し「七福神めぐり」が始まりました。
流山寺には、本堂の左側に石仏の大黒様がいらっしゃいます。今年のお正月も多くの方々がお参りにいらつしやいました。
積善福德 開運厄除の流山寺大黒様は、天保丑年（一八四一年）の作です。私たちのご先祖様が信仰のために庚申講をしており建立したものです。
ぜひお参りの折には、手を合わせ、福德の人に
おなください。

總持寺さまをお参りしましょう

千葉県第十五教区（松戸と流山の曹洞宗の寺院）では、二年ごとに本山への参拝旅行をします。今回、五月二十七日（月）から二十八日（火）に總持寺さまの参拝旅行を実施します。
ご案内を三月に送付いたします。總持寺様での先祖供養と拝観後に、横浜中華街で昼食、焼津黒潮温泉にて宿泊。焼津さかなセンターでお買い物、その後、流山寺秋葉様の本山となる静岡県可睡齋のご祈祷と見学および昼食。久能山ロープウェイにて久能山東照宮社殿（国宝）の見学。流山へとのコースです。出発は流山駅東口です。
流山寺の御檀家様以外、他宗派の方の参加も大歓迎です。申込は三月末日まで。詳しくは、お寺までお問い合わせください。

募集 中

梅花流御詠歌と一緒に練習しませんか。
月一回程度の練習です。